

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	羽久手保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	46
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 鶴見町6丁目17番地	敷地面積	1,937 ㎡
	( 新川小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	羽久手保育園				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和54年度	経過年数	42年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	907 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態		
	63人		60人		55人		59人		直営		
<b>施設コスト</b> ※2 (H30~R2年度) (ファシリティコスト)  ① <b>維持コスト</b> 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② <b>運営コスト</b> 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		6,807,203		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国費		-			修繕料	878,608			
		県費		-			火災保険料	5,633			
		その他		1,596,970			維持管理委託料	991,966			
		市費(一般財源)		85,735,838			敷地借上料	-			
		合 計		94,140,011			工事請負費	1,666,500			
		施設外観					その他維持費	-			
							小 計	3,542,707			
							②運営コスト	人件費(賃金含)	78,724,718		
						光熱水費	1,518,155				
						その他委託料	-				
						その他運営費(事業費)	10,354,431				
						小 計	90,597,304				
						合 計(①+②)	94,140,011				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	1,595,593 円/人				103,793 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
	115,376 円/人				1,172 円/人						
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

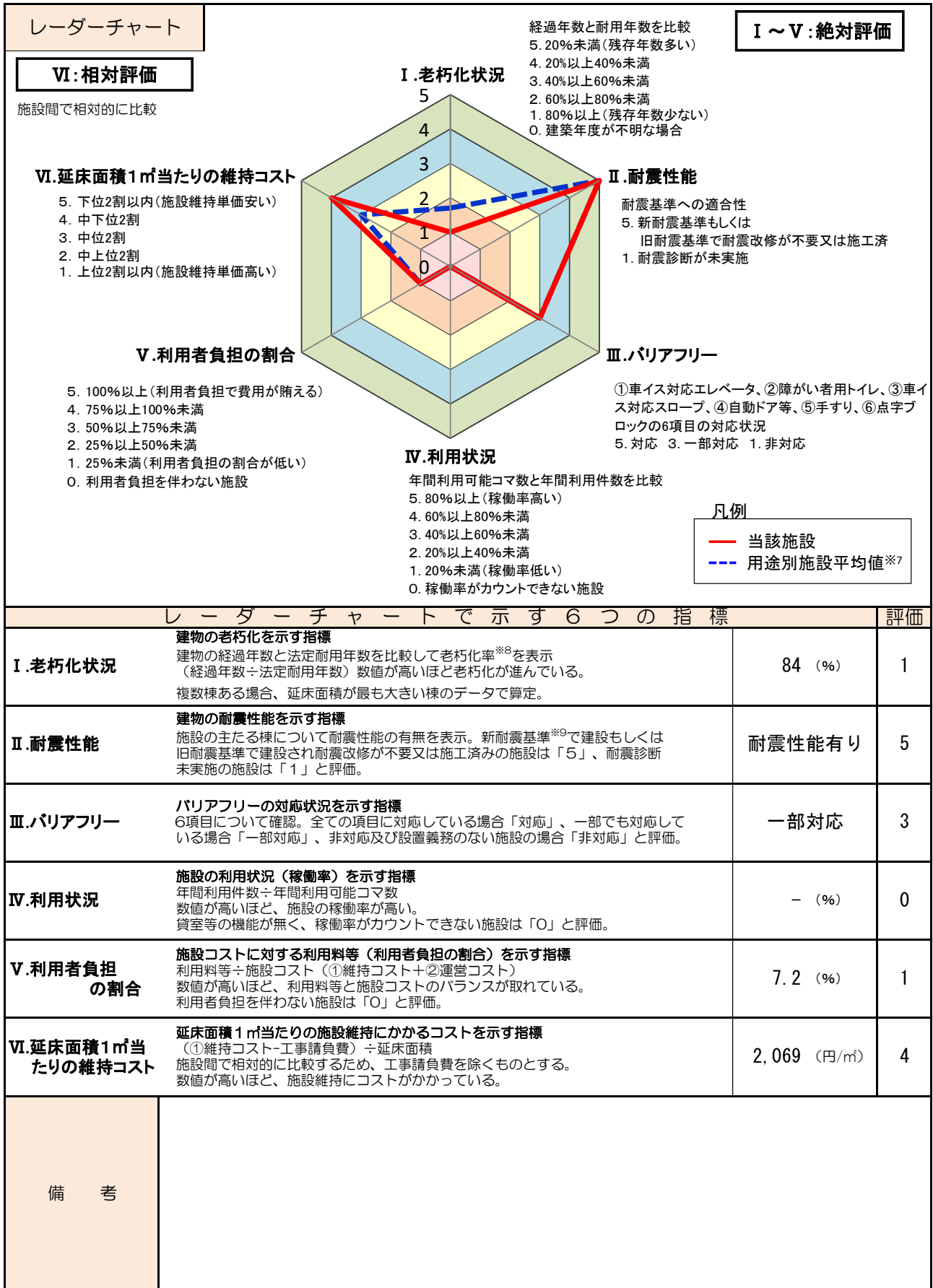
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	天道保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	47
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 末広町2丁目32番地	敷地面積	2,959 ㎡
	( 中央小学校区 )	うち借地面積	306 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	園舎01、園舎02、自転車置場、物置				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和46～昭和52年度	経過年数	44～50年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,161 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(随時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態		
	106人		100人		82人		96人		直営		
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		10,893,773		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国費		-			修繕料	1,197,293			
		県費		-			火災保険料	6,597			
		その他		2,210,275			維持管理委託料	1,423,023			
		市費(一般財源)		106,495,317			敷地借上料	552,175			
	合 計		119,599,365		小 計		3,669,336				
	施設外観				②運営コスト		人件費(賃金含)	98,390,654			
					小 計		2,693,144				
					合 計(①+②)		115,930,029				
				合 計		119,599,365					
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	1,245,827 円/人				103,014 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
113,477 円/人				1,455 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

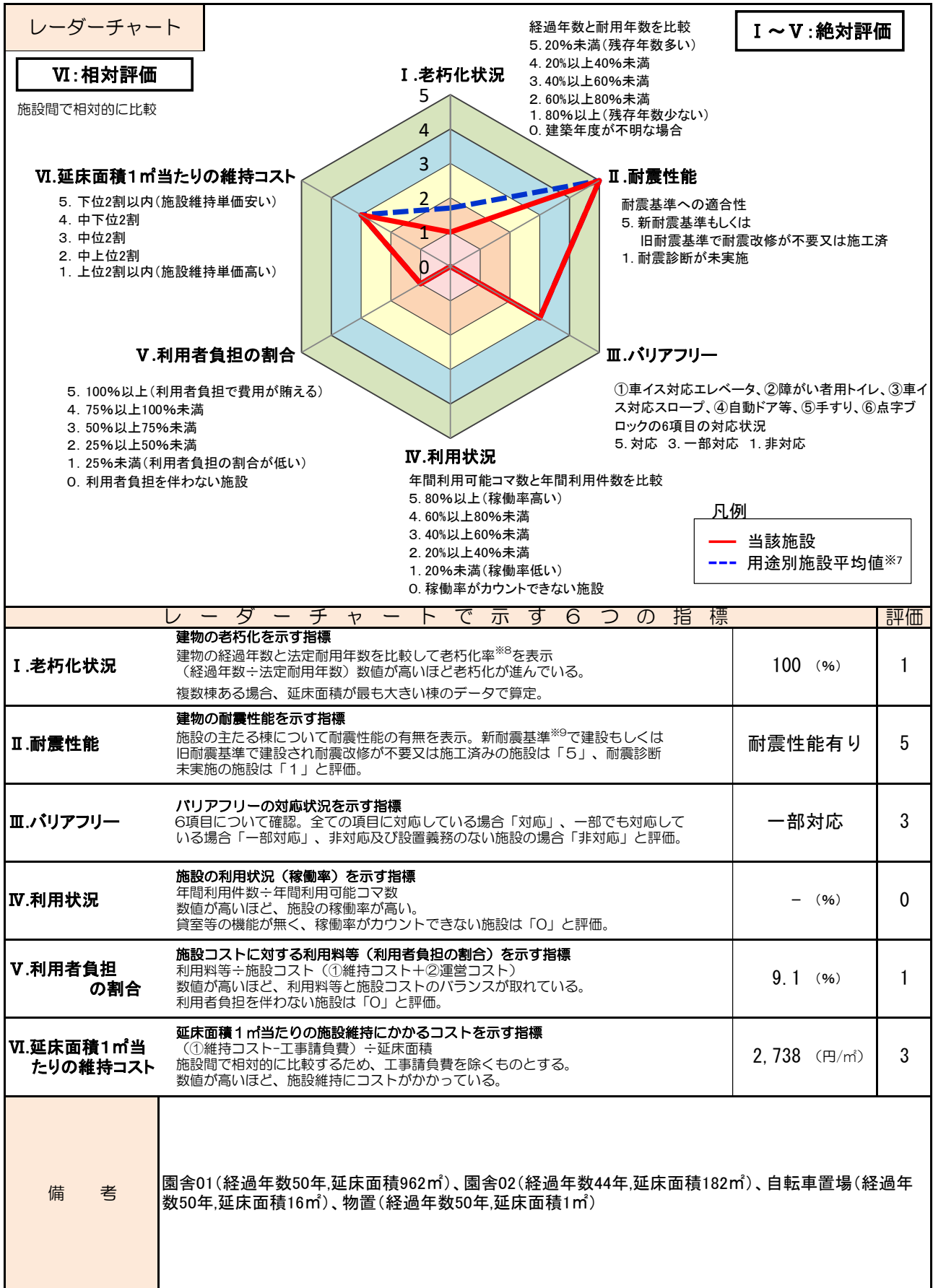
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	築山保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	48
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 塩浜町7丁目99番地	敷地面積	3,169 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	731 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	園舎、屋外倉庫01、屋外倉庫02、自転車置場				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和50～昭和53年度	経過年数	43～46年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	913 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態			
	97人		99人		92人		96人		直営			
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等	7,534,343		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-				
		国 費	-			修繕料	1,240,324					
		県 費	-			火災保険料	5,456					
		その他	3,342,265			維持管理委託料	1,335,521					
		市費(一般財源)	109,817,777			敷地借上料	857,671					
	合 計		120,694,385		工事請負費	198,000						
	施設外観				その他維持費	-						
					小 計	3,636,972						
					②運営コスト	人件費(賃金含)	101,039,079					
				光熱水費	2,605,196							
				その他委託料	-							
				その他運営費(事業費)	13,413,138							
				小 計	117,057,413							
				合 計(①+②)	120,694,385							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	1,257,233 円/人				132,195 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
78,483 円/人				1,501 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

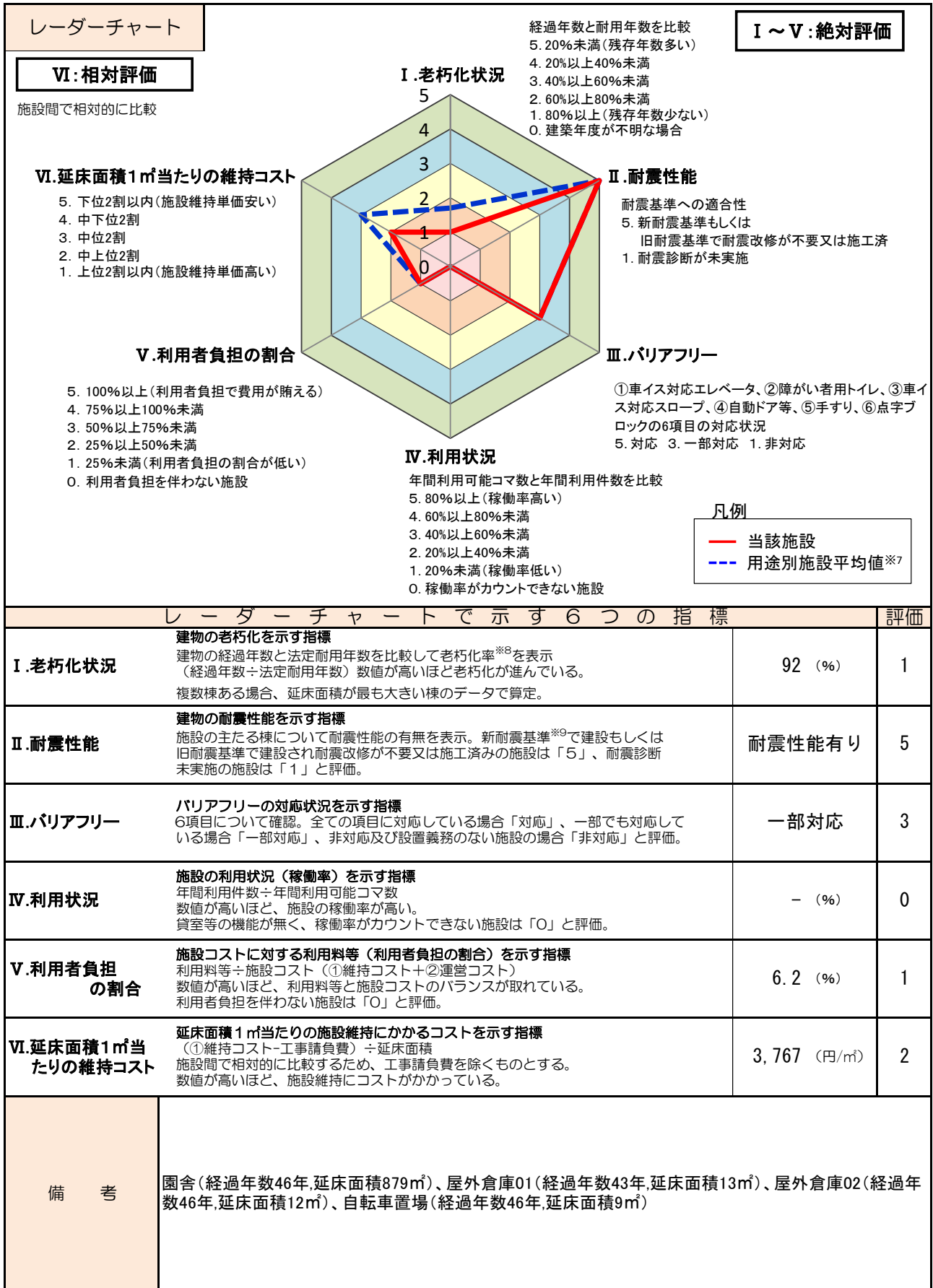
※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)



#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	日進保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	49
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 伏見町1丁目66番地	敷地面積	3,104 ㎡
	( 日進小学校区 )	うち借地面積	1,806 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	園舎、園舎(増築)				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和58～平成13年度	経過年数	20～38年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,310 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態			
	151人		147人		146人		148人		直営			
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等	13,428,550		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-				
		国 費	-			修繕料	1,410,174					
		県 費	-			火災保険料	12,000					
		その他	5,047,950			維持管理委託料	1,427,151					
		市費(一般財源)	137,901,481			敷地借上料	2,170,460					
	合 計		156,377,981		工事請負費	-						
	施設外観				その他維持費	-						
					小 計	5,019,785						
					②運営コスト	人件費(賃金含)	132,241,433					
				光熱水費	2,881,963							
				その他委託料	-							
				その他運営費(事業費)	16,234,800							
				小 計	151,358,196							
				合 計(①+②)	156,377,981							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	1,056,608 円/人				119,373 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
90,733 円/人				1,884 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

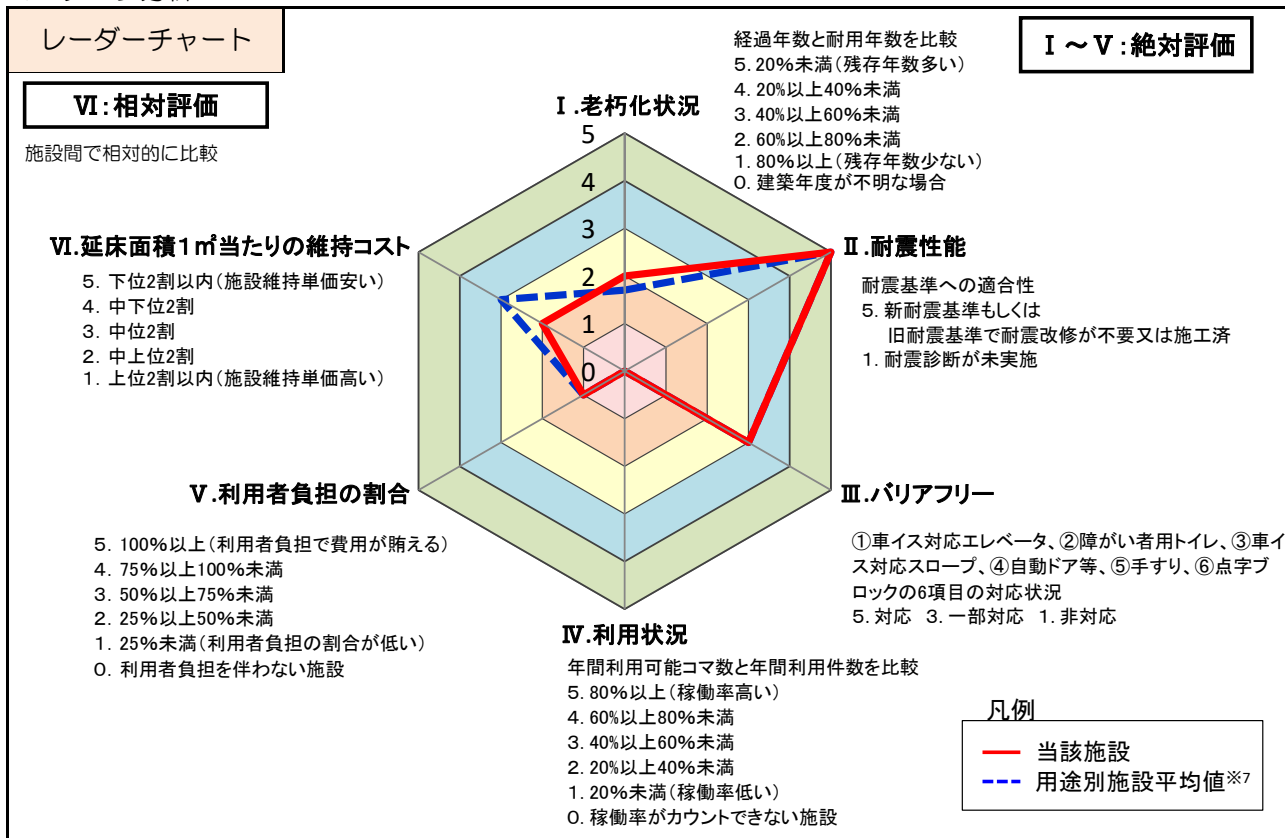
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標

		評価
<b>I. 老朽化状況</b>	<b>建物の老朽化を示す指標</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	76 (%) 2
<b>II. 耐震性能</b>	<b>建物の耐震性能を示す指標</b> 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
<b>III. バリアフリー</b>	<b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b> 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	一部対応 3
<b>IV. 利用状況</b>	<b>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</b> 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
<b>V. 利用者負担の割合</b>	<b>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	8.6 (%) 1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b>	<b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b> (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	3,832 (円/㎡) 2

備考

園舎(経過年数38年,延床面積984㎡)、園舎(増築)(経過年数20年,延床面積326㎡)

※7 用途別施設平均値:施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率:建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準:昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	鷺塚保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	50
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町3丁目70番地2	敷地面積	3,910 ㎡
	( 鷺塚小学校区 )	うち借地面積	571 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	園舎、園舎(増築)、屋外便所、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和55～平成12年度	経過年数	21～41年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,768 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態			
	200人		202人		194人		199人		直営			
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ① <b>維持コスト</b> 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② <b>運営コスト</b> 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等		22,328,430		支 出	人件費(賃金含)		-			
		国費		-			修繕料		1,723,453			
		県費		-			火災保険料		12,147			
		その他		20,342,859			維持管理委託料		1,682,412			
		市費(一般財源)		195,145,080			敷地借上料		540,052			
	合 計			237,816,369		工事請負費		1,700,496				
	施設外観				小 計			5,658,560				
					②運 営 コ ス ト		人件費(賃金含)		201,251,224			
							光熱水費		3,723,905			
						その他委託料		-				
						その他運営費(事業費)		27,182,680				
						小 計			232,157,809			
						合 計(①+②)			237,816,369			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	1,195,057 円/人				134,512 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
112,203 円/人				2,667 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

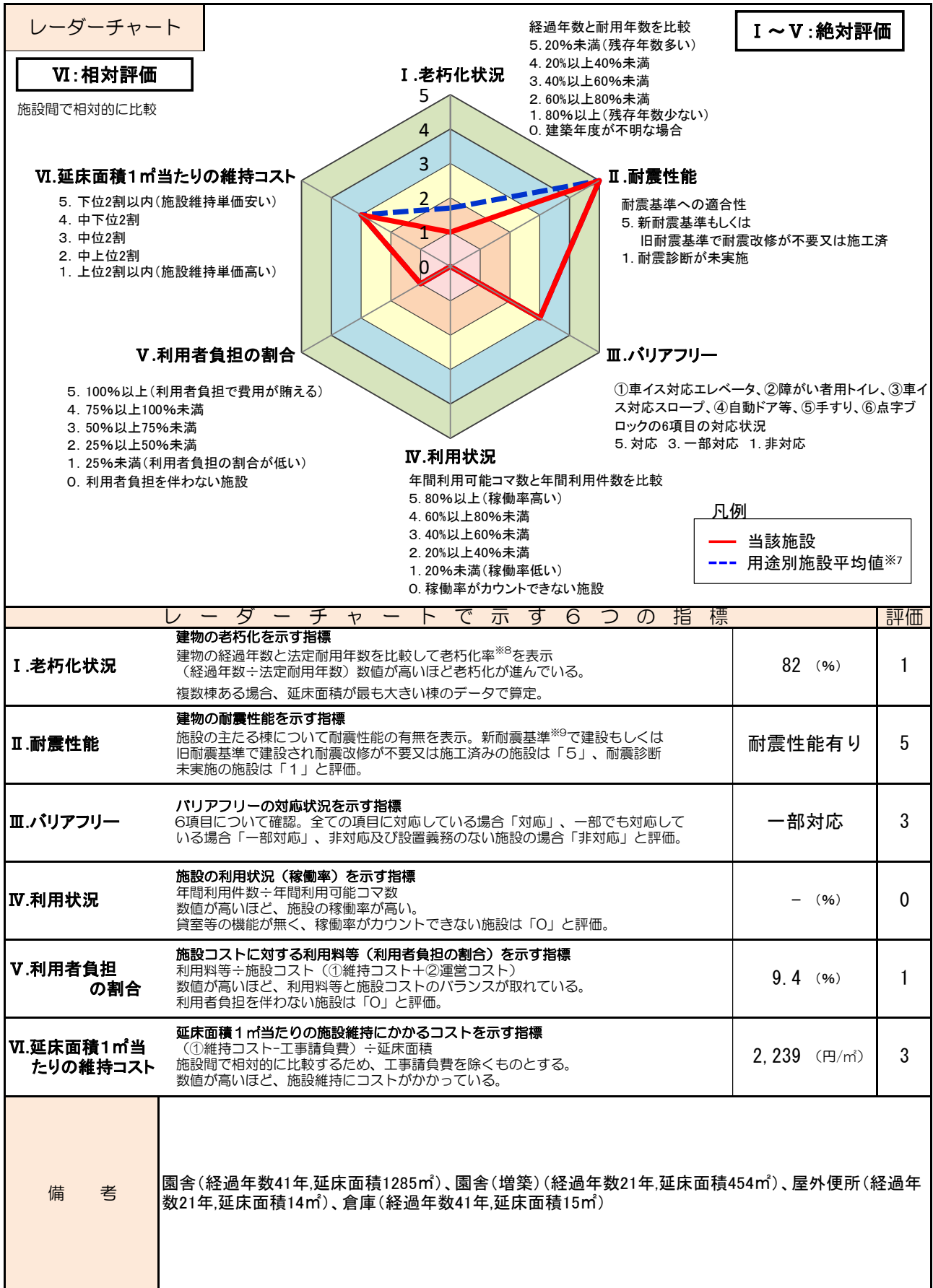
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	新川幼稚園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	51
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目123番地	敷地面積	2,953 ㎡
	( 新川小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	管理教室棟、便所、遊戯室、教室棟01、教室棟02、給食室				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和43～平成5年度	経過年数	28～53年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	611 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態			
	100人		95人		110人		102人		直営			
施設コスト※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等	3,055,550		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-				
		国 費	-			修繕料	964,433					
		県 費	-			火災保険料	9,331					
		その他	199,873			維持管理委託料	740,168					
		市費(一般財源)	88,015,013			敷地借上料	-					
	合 計		91,270,436		工事請負費	41,013						
	施設外観				その他維持費	-						
					小 計	1,754,945						
					②運営コスト	人件費(賃金含)	84,420,408					
				光熱水費	995,308							
				その他委託料	-							
				その他運営費(事業費)	4,099,775							
				小 計	89,515,491							
				合 計(①+②)	91,270,436							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	894,808 円/人				149,379 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
29,956 円/人				1,203 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

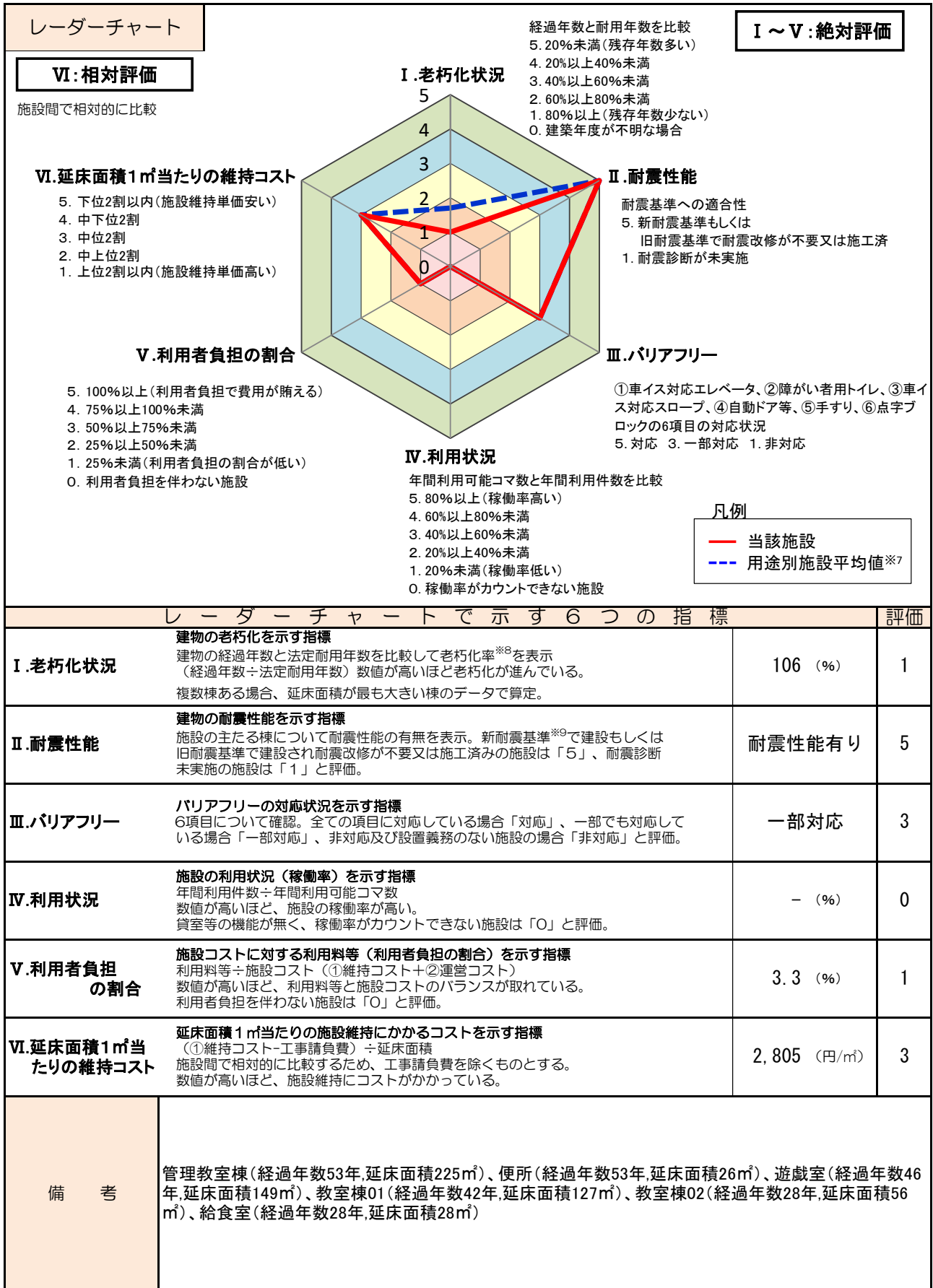
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	中央幼稚園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	52
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 幸町3丁目40番地1	敷地面積	3,036 ㎡
	( 中央小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	管理棟01、管理棟02、管理棟03、教室棟01、教室棟02、教室棟03、教室棟04、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和54～平成20年度	経過年数	13～42年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	958 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態		
	88人		96人		91人		92人		直営		
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等	2,489,100		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-			
		国 費	-			修繕料	1,358,142				
		県 費	-			火災保険料	21,749				
		その他	225,074			維持管理委託料	926,659				
		市費(一般財源)	79,764,729			敷地借上料	-				
	合 計		82,478,903		工事請負費	1,045,800					
	施設外観				その他維持費	-					
					小 計	3,352,350					
					②運営コスト	人件費(賃金含)	73,303,316				
				光熱水費	1,171,928						
				その他委託料	-						
				その他運営費(事業費)	4,651,309						
				小 計	79,126,553						
				合 計(①+②)	82,478,903						
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	896,510 円/人				86,095 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
27,055 円/人				1,090 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

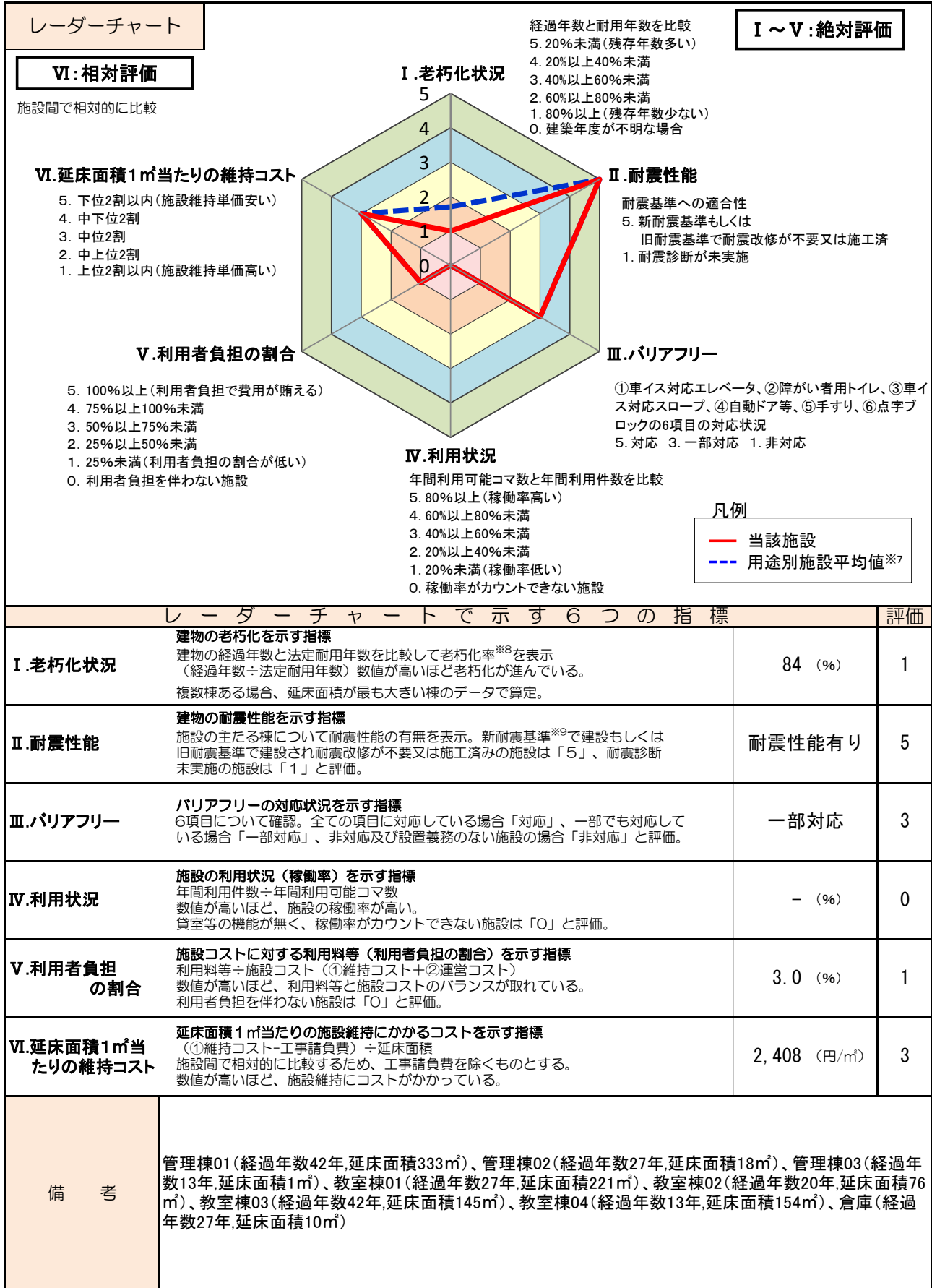
※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)



## 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	大浜幼稚園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	53
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 浜田町1丁目119番地	敷地面積	2,948 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	管理教室棟、教室棟、機械室、便所、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成5～平成15年度	経過年数	18～28年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	1,022 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態			
	79人		85人		81人		82人		直営			
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等	2,240,000		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-				
		国 費	-			修繕料	1,342,894					
		県 費	-			火災保険料	56,379					
		その他	210,861			維持管理委託料	835,566					
		市費(一般財源)	75,701,061			敷地借上料	-					
	合 計		78,151,922		工事請負費	-						
	施設外観				その他維持費	-						
					小 計	2,234,839						
					②運営コスト	人件費(賃金含)	70,693,625					
				光熱水費	1,179,317							
				その他委託料	-							
				その他運営費(事業費)	4,044,141							
				小 計	75,917,083							
				合 計(①+②)	78,151,922							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	953,072 円/人				76,470 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
27,317 円/人				1,034 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

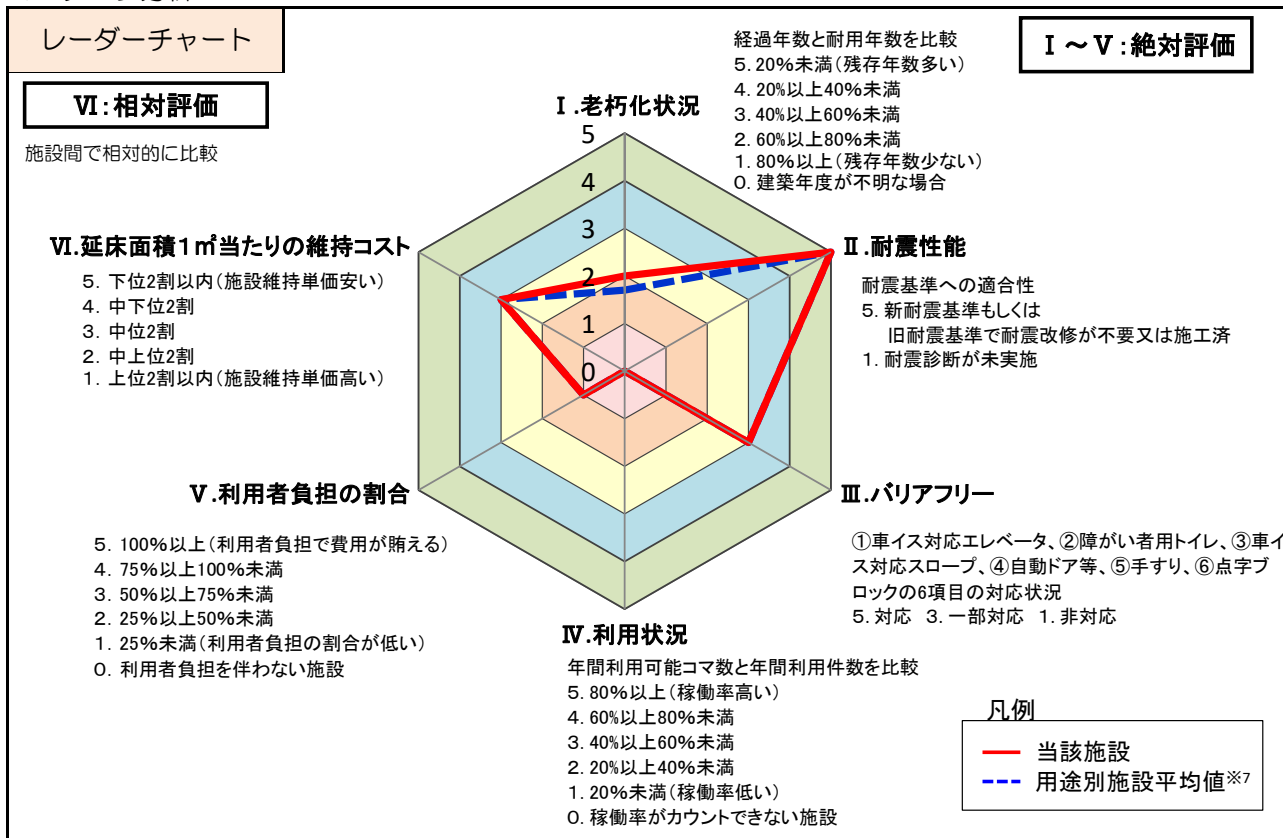
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標

		評価
<b>I. 老朽化状況</b>	<b>建物の老朽化を示す指標</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	74 (%) 2
<b>II. 耐震性能</b>	<b>建物の耐震性能を示す指標</b> 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
<b>III. バリアフリー</b>	<b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b> 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	一部対応 3
<b>IV. 利用状況</b>	<b>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</b> 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
<b>V. 利用者負担の割合</b>	<b>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	2.9 (%) 1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b>	<b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b> (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	2,187 (円/㎡) 3

備考

管理教室棟(経過年数28年、延床面積903㎡)、教室棟(経過年数18年、延床面積93㎡)、機械室、便所(経過年数28年、延床面積8㎡)、倉庫(経過年数28年、延床面積18㎡)

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	棚尾幼稚園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	54
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町2丁目10番地 ( 棚尾小学校区 )	敷地面積	3,330 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	教室棟、管理教室棟、便所、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成6 ~ 平成20 年度	経過年数	13 ~ 27 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	922 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数	管理形態	
	116 人		92 人		93 人		100 人	直営	
<b>施設コスト</b> ※2 (H30~R2年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		2,846,067		支 出	人件費(賃金含)		-
		国 費		-			修繕料		870,397
		県 費		-			火災保険料		33,976
		その他		315,652			維持管理委託料		817,811
		市費(一般財源)		84,785,768			敷地借上料		-
	合 計			87,947,487			工事請負費		698,400
	施設外観				その他維持費			-	
					小 計			2,420,584	
					②運営コスト			人件費(賃金含)	
							光熱水費		1,227,381
						その他委託料		-	
						その他運営費(事業費)		4,713,617	
						小 計		85,526,903	
						合 計(①+②)		87,947,487	
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	879,475 円/人				95,388 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
28,461 円/人				1,159 円/人					
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

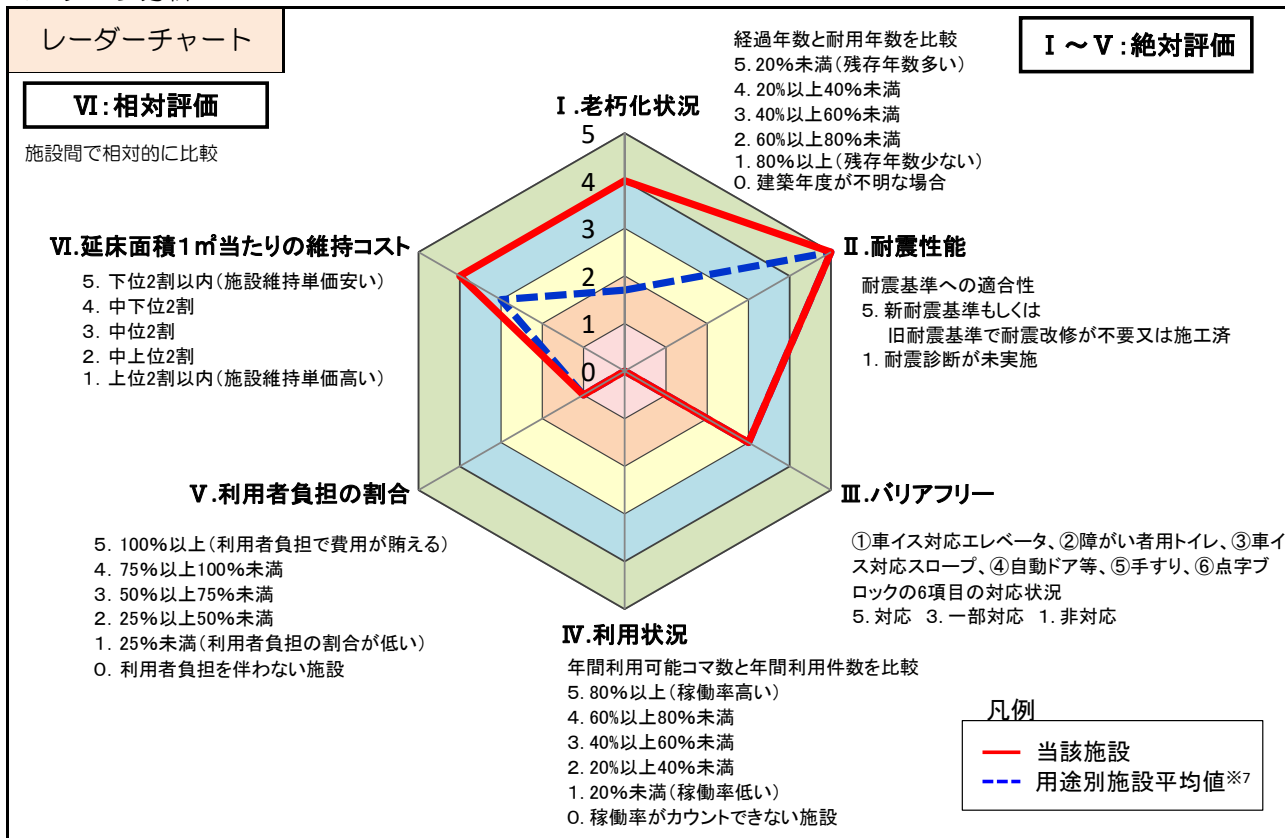
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標

		評価
<b>I. 老朽化状況</b>	<b>建物の老朽化を示す指標</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	34 (%) 4
<b>II. 耐震性能</b>	<b>建物の耐震性能を示す指標</b> 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
<b>III. バリアフリー</b>	<b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b> 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	一部対応 3
<b>IV. 利用状況</b>	<b>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</b> 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
<b>V. 利用者負担の割合</b>	<b>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	3.2 (%) 1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b>	<b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b> (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	1,868 (円/㎡) 4

備考

教室棟(経過年数27年,延床面積232㎡)、管理教室棟(経過年数13年,延床面積666㎡)、便所(経過年数13年,延床面積14㎡)、倉庫(経過年数27年,延床面積10㎡)

※7 用途別施設平均値:施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率:建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準:昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	西端幼稚園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園	施設番号	55
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 上町2丁目77番地	敷地面積	4,545 ㎡
	(西端小学校区)	うち借地面積	653 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	管理教室棟01、管理教室棟02、遊戯室、管理教室棟03				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成8～平成20年度	経過年数	13～25年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,160 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度		令和元年度		令和2年度		平均利用者数		管理形態		
	101人		88人		70人		86人		直営		
<b>施設コスト</b> ※2 (H30～R2年度) (ファシリティコスト)  ① <b>維持コスト</b> 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② <b>運営コスト</b> 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		2,943,250		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国費		-			修繕料	1,152,487			
		県費		-			火災保険料	20,296			
		その他		371,723			維持管理委託料	924,855			
		市費(一般財源)		63,464,396			敷地借上料	911,073			
	合 計		66,779,369		小 計		3,008,711				
	施設外観 		利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4		②運営コスト				
			776,504 円/人		57,568 円/㎡		人件費(賃金含)	57,888,701			
			利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		光熱水費	1,630,861			
34,224 円/人			867 円/人		その他委託料	-					
				その他運営費(事業費)	4,251,096						
				合 計 (①+②)		66,779,369					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

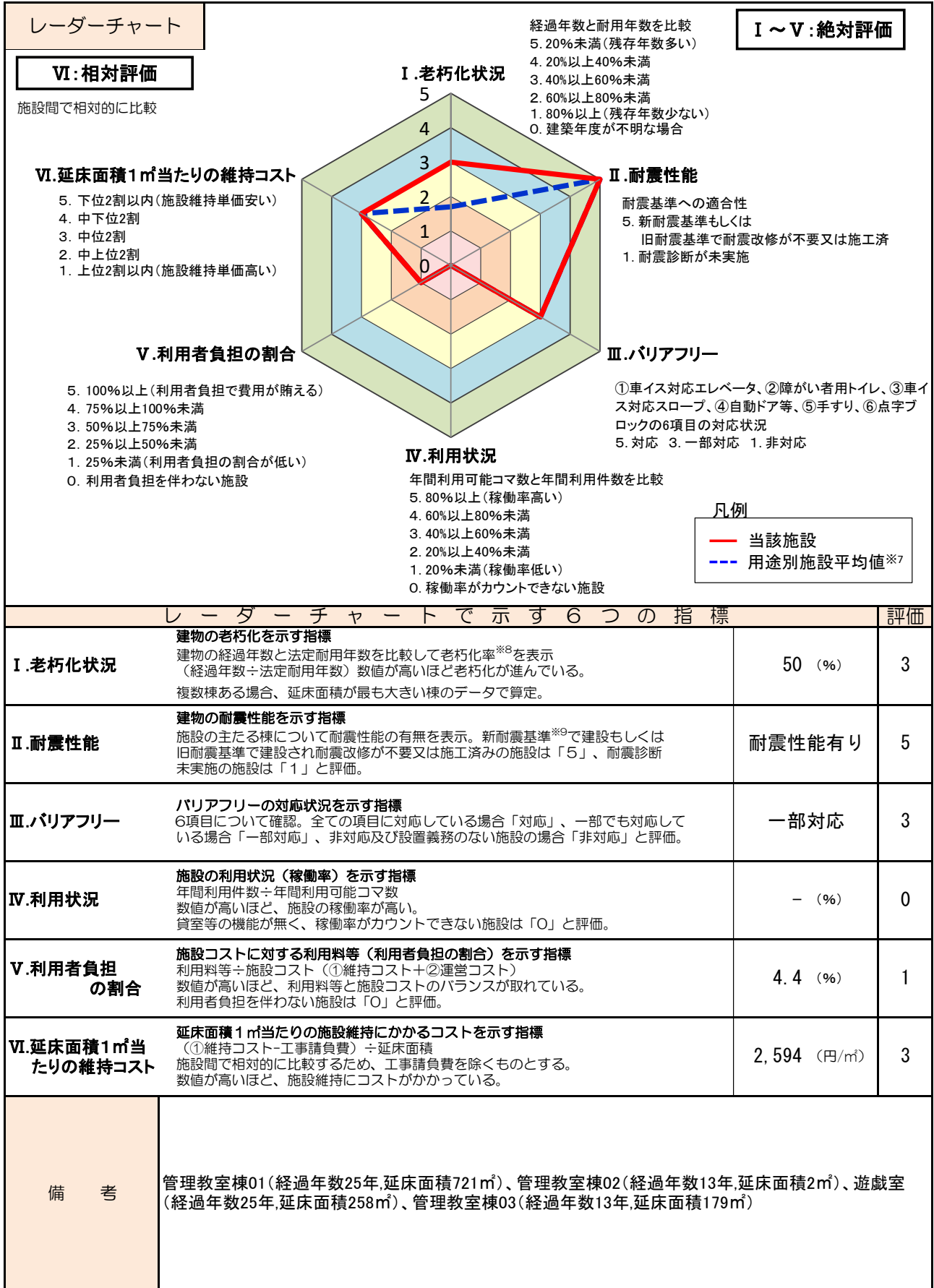
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。